

処理槽修繕工事より

機器の修繕工事も致します！



開口蓋の受枠交換工事



ブロワー交換工事



逆止弁交換



ハイブリッド・システム付加設置



臭気ファン接続部、カラス対策



ポンプ・フロート交換

水物語 No13 琵琶湖疎水・明治の先人たちの偉業に感嘆します！！

LONG TOURING CLUB 参照

京都市は禁門の変で市中の大半が焼け、明治維新と東京首都に伴い人が減少し産業も衰退しました。第3代京都府知事北垣國道と技師の田邊朔郎の綿密な計画のもと、多くの犠牲を出しながらも明治23年、琵琶湖から京都への水路・琵琶湖疎水は見事に完成を致しました。その目的は、舟運、発電、灌漑、飲料水、防火、工業用水と多岐にわたっています。田邊朔郎博士は着工後外国へ留学し、そこで得た知識を疎水建設に生かした。発電はその1つで疎水の水で起こした電気を使い、ケーブルカーの原理と同じインクラインの台車を走らせました。

疎水が計画された当時、水力発電は世界的にみても小規模なものがいくつかあるだけだったという。欧米でも大規模水力発電の実用化が進んだのは1890年代です。ちなみにエジソンがNYで送電システムを完成させたのが1882年であり、日本で東京電力の前身会社が設立されたのが、その、たった1年後の1883年です。信じ難いことですが、明治初期の日本における電気事業の進展は、世界的にみても先端を走っていたのです。文明開化の時代は、それほどまでに先端技術の導入に貪欲でした。琵琶湖疎水を設計製作指揮したのは、当時若干23才の田邊朔郎です。明治人の気概と勇気には感嘆せざるを得ません。



南禅寺境内の水路閣

水路閣は琵琶湖疎水の支線の一部となるレンガ造りの水路橋で、京都の有名なお寺である南禅寺の境内を通過している。なんとも奇妙な風景です。南禅寺は京都でも格式の高い禅寺であり、名庭や三門など重文・国宝級の加蓋が祭られています。



水路閣上を琵琶湖疎水が流れる様子、いまでも生きています。

東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F
汚泥ゼロ・臭気ゼロ
ハイブリッドシステム推進中！
株式会社クリーンテックサービス